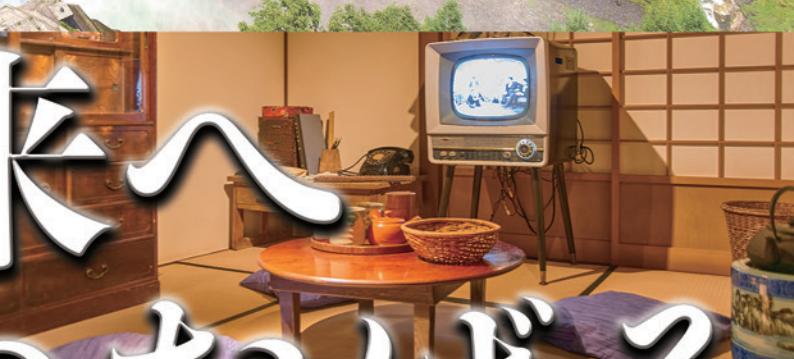


昭和
100年
1926—2026

昭和100年

未来へ
つなげる



昭和館提供



令和8年(2026年)に、昭和元年(1926年)から起算して満100年を迎えます

内閣官房「昭和100年」関連施策推進室

昭和の時代は、未曾有の激動と変革、苦難と復興の時代でした。

「昭和100年」を契機に昭和を顧み、先人の躍動に学び、昭和の記憶を共有することは、平成以降の生まれの世代にとっても新たな発見のきっかけとなり、また、世代を超えた理解・共感を生むとともに、リスクや課題に適切に対処しながら、幸せや生きがいを実感でき、希望あふれる未来を切り拓く機会になります。さらに、いつの時代にあっても忘れてはならない平和の誓いを継承し、将来にわたる国際社会の安定と繁栄への貢献につなげていく機会にもなります。このような観点から、政府では、地方公共団体や民間とも一緒に、幅広い分野で、「昭和100年」関連施策を推進していきます。

施策の3つの柱

- ①昭和の躍動や体験を発掘し、次世代に伝承していくための施策
- ②昭和を顧み、昭和に学び、未来を切り拓いていくための施策
- ③「昭和100年」の機運を盛り上げるための施策

国立公文書館における昭和期の文書を中心とした展示会



改元の詔書
(昭和)



明治150年記念展示会の会場

戦争体験の記憶を次世代に語り継ぐための講話活動等を行う平和の語り部事業



①講話型の例



②対話型の例



③体験型の例

国立文化施設(国立科学博物館、国立美術館、国立文化財機構、日本芸術文化振興会等)における昭和に関連した展示等の催し



国立科学博物館



東京国立近代美術館



東京国立博物館



国立文楽劇場

URまちとくらしのミュージアムにおける昭和の住環境の紹介



日本住宅公団初期の代名詞となった2DK(ダイニングキッチンと2つの寝室を持つ間取り)の代表的な住宅

【蓮根団地】



当時を代表する建築家・前川國男の設計による公団初となる10階建て高層集合住宅

【晴海高層アパート】

記念貨幣の発行検討、記念切手の発行推薦



記念貨幣の発行

明治150年記念千円銀貨幣の図柄
(表面)明治初期の鉄道駅の様子と
'明治150年'関連施策推進ロゴマーク
(裏面)明治初期の20円金貨幣の表面
紋様



記念切手の発行

地方公共団体、民間を含めた「昭和100年」関連施策については、「昭和100年」ポータルサイトやSNSで紹介しています。

昭和100年ポータルサイト

Instagram

X(旧Twitter)

